



NNA (MALAYSIA) SDN. BHD.

D-3-5, Megan Avenue 1, No189 Jalan Tun Razak 50400 KL  
Tel : 03-2163-6226 Fax : 03-2163-9993 E-mail : sales\_my@nna.asia

KDN PP 11802/03/2013 (031453) MDDI(P) 040/03/2025 転載契約 : Star Publications/Bernama

# 医療分野で東南ア市場開拓 首都で展示会、日本企業も出展

医療従事者や製薬業界関係者向けの展示会「東南アジア・ヘルスケア&ファーマ・ショー (SEACare) 2025」が、25日までマレーシアの首都クアラルンプールで開催されている。国内外13カ国・地域から130のブランドが250のブースを出展している。日本企業も複数出展し、医療分野でマレーシアをはじめとする東南アジア市場への展開や事業機会を探る。



医療アパレルブランドのクラシコのブース=23日、クアラルンプール (NNA撮影)

同展示会に出展している日本貿易振興機構(ジェトロ)クアラルンプール事務所の高野光一所長は、「(マレーシアは)高齢化の進展が見込まれる中、食生活、肥満率の高さ、慢性疾患の多さなども課題となっており、医療分野の需要が拡大している」とコメント。「日本の技術やサービスが貢献できる余地は非常に大きい」と強調した。

ジェトロは同展示会への参加を通じて、マレーシアの医療市場の情報収集に加え、ジェトロの取り組みも発信していく。日本企業と海外企業の協業連携を支援する会員制ポータルサイト「ジャパン・イノベーション・ブリッジ (J-Bridge)」や海外バイヤー専用のオンラインカタログサイト「ジャパン・ストリート (Japan Street)」を紹介し、日本企業との協業連携に関心があるスタート

アップやバイヤーの開拓を図る。



ジェトロ・クアラルンプール事務所の高野所長=23日、クアラルンプール (NNA撮影)

ジェトロで中小企業海外展開現地支援プラットフォームコーディネーターを務める岩田真宜氏は、「時代とともにマレーシアのヘルスケアビジネスも変化しており、現地の動向を注視しつつ、医療の進化やデジタル化の流れを見逃さないことが重要だ」との見解を示した。

## 市場開拓の企業も多数

台湾でソフトウェア開発を手がけるラディラドのグループ会社で、人工知能(AI)を活用したスマート医療機器を手がけるラディラド(東京都港区)のリン・ティンチュン最高経営責任者(CEO)兼最高技術責任者(CTO)は、「今年に入り、世界の展示会に複数出展してきたが、東南アジア市場の開拓は今回が初めてだ」とコメント。台湾にも拠点を構える同社は、今回の展示会を通じて、現地販売代理店の開拓や医療文化の理解を深める方針だという。

医療アパレルブランドのクラシコ(東京都港区)は、中国、台湾、中東諸国などでの事業に加え、昨年11月に電子商取引(EC)を通じて、東南アジア諸国で事業展開を開始した。

今回の展示会を通じて、ECでは届かない現地の顧客に事業の周知を図るほか、現地代理店と提携してマレー

シアでの事業を拡大していく方針だ。クラシコの大和新代表取締役 CEO は、「展示会初日の半日で医療従事者やメーカーなどから声をかけられ、反響が大きいと感じる」と話した。

### 過去最大規模

東南アジア・ヘルスケア&ファーマ・ショーは、23～25 日の日程でクアラルンプールのマレーシア国際貿易・展示センター（MITEC）で開催されている。主催者で、MITEC を運営するキューブ・インテグレートッド・マレーシアによると、25 回目を迎えた今回は過去最大規模だという。

医療製品・機器、医療観光、医薬品・バイオテクノロジー、高齢者向けサービスなど、業界をけん引する最新の製品・サービスを紹介し、地域市場への参入や事業拡大を図る企業に模索機会を提供する。

キューブ・インテグレートッド・マレーシアのケビン・テオ・ゼネラルマネジャーは、「(同展示会では)医療分野のリーダー、政策立案者、イノベーターが一堂に

会し、新たなトレンドや規制の進展、投資機会について議論を深めることで、医療分野の長期的な発展に直接貢献することが期待される」と述べた。



「東南アジア・ヘルスケア&ファーマ・ショー（SEAcare）2025」は、25日まで開催されている＝23日、クアラルンプール（NNA撮影）

### 【マレーシア一車両】

## 3 月メーカー別新車販売、国民車 2 社プラス

マレーシア自動車協会（MAA）は 24 日、3 月のメーカー別新車販売台数を発表した。トップシェアを堅持する国民車メーカーのプロトゥアが前年同月比 5.4%増の 3 万 464 台、シェア 2 位の国民車メーカーのプロトンが 8.3%増の 1 万 3,473 台と、いずれも前年実績を上回った。

3 月の新車販売台数は 2.1%増の 7 万 2,704 台。内訳は、乗用車が 5.1%増の 6 万 8,174 台、商用車が 28.8%減の 4,530 台だった。

乗用車部門では、プロトゥアが首位、プロトンが 2 位（2 社とも販売台数の全てが乗用車）。以下、ホンダが

11.2%増の 9,208 台、トヨタ自動車は 17.3%減の 5,899 台、中国の自動車大手、奇瑞汽車（チェリー）が 78.4%増の 2,713 台で続いた。

商用車部門では、トヨタが 24.2%減の 1,934 台に落ち込んだものの首位を堅持。以下、いすゞ自動車が 1.3%減の 1,167 台、フォードが 34.6%減の 416 台、三菱自動車が 45.3%減の 377 台、日野自動車が 57.1%減の 194 台と、いずれもマイナスとなった。

乗用車、商用車を合わせた 1～3 月の累計販売台数は、前年同期比 7.4%減の 18 万 8,122 台。内訳は、乗用車が 5.0%減の 17 万 6,470 台、商用車が 32.9%減の 1 万 1,652 台だった。

### NEWS HEADLINES

- 【医薬】医療分野で東南ア市場開拓 1
- 【車両】3月メーカー別新車販売、国民車2社プラス 2
- 【車両】アウディが現地生産開始、東南アで初 4
- 【化学】進出 広島大発バイオベンチャー、地域拠点設立 4
- 【金融】RM 1 = 32.6円、\$ 1 = RM4.38 (24日) 5
- 【金融】イオンクレ、ス州セパンサーキットと提携 5
- 【経済】25年成長率、政府公式予想も引き下げか 5
- 【経済】ジョ州人工島金融特区、30社超が関心表明 6
- 【経済】投資貿産省傘下、デザインで日本2機関と提携 6
- 【経済】ナザグループ、廃棄物管理で中国企業と提携 6
- 【資源】国営石油、設備サービス分野で覚書11件締結 7
- 【公益】建設MN、クダ州の太陽光発電設備の工事受注 7
- 【運輸】首都空港、中国鄭州と「ツインハブ」推進 7
- 【運輸】中国の吉祥航空、6月に上海 KL線就航 8
- 【医薬】サンウエー、プトラジャヤに三次救急病院建設 8
- 【IT】24年のスマホ世帯保有率は97.9% = 統計局 8
- 【サービス】ベルジャヤ、アイスランドでスタバ出店 8

- 【社会】消防救助局、火災安全規則を強化 9
- 【社会】政府、ミャンマー被災地に野戦病院開設 9

### その他アジア情報

- 【電機】東南アの中国系太陽電池に関税、台湾に追い風 9
- 【IT】東大発新興と地場、保険の電話対応AI導入へ 10
- 【建設】工業不動産賃料、1～3月期は2.3%上昇 10
- 【IT】シャープ半導体子会社、事業売却で連結外へ 10
- 【車両】ジャカルタの自動車燃料税、5%に引き下げ 11
- 【サービス】料理宅配フードパンダ、5月にタイ撤退 11
- 【サービス】物語コーポ、比にハンバーグ専門店 12
- 【車両】シマ商会がハノイに現法、建機循環へ 12
- 【経済】〔アジア人事〕フコクほか 12

### マーケット情報、その他

- 商品市況 13
- クロスレート 13
- マーケット情報 為替と株式 14

1～3月の自動車協会の加盟企業によるハイブリッド車（HV）の販売台数は8,251台、電気自動車（EV）の販売台数は5,394台だった。

メーカー別新車販売台数  
(2025年3月)

メーカー	乗用車		商用車	
	台数	増減	台数	増減
BMW	656	▲33.1	-	-
比亞迪(BYD)	1,210	53.7	-	-
CAM※	189	90.9	21	▲60.4
奇瑞汽車(チェリー)	2,713	78.4	-	-
フォード	6	▲33.3	416	▲34.6
北汽福田汽車(フォトン)	-	-	12	▲85.0
ホンダ	9,208	11.2	-	-
現代イノコム	100	37.0	-	-
いすゞ自動車	-	-	1,167	▲1.3
ジャガー	6	200.0	-	-
起亜	-	-	-	-
金龍客車(King Long)	0	-	-	-
ランドローバー	6	50.0	-	-
レクサス	96	-	-	-
ロータス	0	-	-	-
マツダ	807	▲48.6	3	▲81.3
MG(名爵)	0	-	-	-
ミニ	141	-	-	-
メルセデス・ベンツ	544	-	2	▲81.8
三菱自動車	948	10.5	377	▲45.3
ナタ汽車	17	466.7	-	-
日産自動車	554	▲3.8	152	▲45.9
長城汽車(GWM)※	398	947.4	0	-
トラックネット・マシナリー	-	-	4	-
プロドゥア	30,464	5.4	-	-
ボルシェ	174	52.6	-	-
プロトン	13,473	8.3	-	-
ルノー	0	-	-	-
スバル	74	▲51.3	-	-
スズキ	170	214.8	-	-
トヨタ自動車	5,899	▲17.3	1,934	▲24.2
フォルクスワーゲン	149	▲4.5	-	-
ボルボ	172	▲27.4	-	-
フォトン福田汽車(Auman)	-	-	0	-
北奔重型汽車(BeiBen)	-	-	-	-
フォトン欧馬可(Aumark)	-	-	29	-
長安汽車(Chana)	-	-	18	100.0
ダイハツ工業	-	-	63	▲21.3
DFAC	-	-	-	-
DFSK	-	-	2	100.0
ドンフェン	-	-	12	-
日野自動車	-	-	194	▲57.1
JAC	-	-	5	▲81.5
JBC	-	-	0	-
JMC	-	-	0	-
MAN	-	-	13	0.0
三菱ふそうトラック・バス	-	-	43	▲69.1
中国重汽(シノトラック)	-	-	26	62.5
スカニア	-	-	0	-
タタ・モーターズ	-	-	-	-
UDトラック	-	-	30	▲30.2
ボルボ・トラック	-	-	5	▲80.0
ZNA	-	-	-	-
FODAY	-	-	2	100.0
DFCV	-	-	-	-
Shandong Kama	-	-	-	-
YANGTSE	-	-	0	-
合計	68,174	5.1	4,530	▲28.8

単位：台、増減は%・前年同月比、▲はマイナス  
 BMW、スカニアは四半期ベースでの報告  
 ※長城汽車(GWM)は「哈弗(ハーバル)」「欧拉(ORA)」「坦克(タンク)」含む  
 ※CAMC含む 出所：マレーシア自動車協会(MAA)

### 生産台数、プロドゥアが2.7万台

3月の生産台数は前年同月比13.4%減の5万8,063台。内訳は、乗用車が13.4%減の5万5,301台、商用車が12.2%減の2,762台だった。

メーカー別では、プロドゥアが2万7,220台で最多。以下、プロトンが1万2,774台、トヨタが6,851台で続いた。

乗用車部門では、プロドゥア、プロトン(2社とも生産台数の全てが乗用車)の順となり、ホンダが6,009台で続いた。商用車部門では、トヨタが1,981台で最多。以下、いすゞが378台、ホハンが152台だった。

乗用車、商用車を合わせた1～3月の累計生産台数は、前年同期比15.6%減の17万7,603台。乗用車が15.3%減の16万8,797台、商用車が21.6%減の8,806台と、いずれも2桁のマイナスとなった。

メーカー別生産台数  
(2025年3月)

メーカー	乗用車	商用車
三菱自動車	634	-
フォルクスワーゲン	57	-
メルセデス・ベンツ	469	0
三菱ふそう	-	87
トヨタ自動車	4,870	1,981
長安汽車(Chana)	-	0
北汽福田汽車(フォトン)	48	26
ウエストスター	24	0
DFSK	-	-
BAW	-	-
CAM*	180	36
ホンダ	6,009	-
YANGTSE	-	-
HANVAN	-	0
ホハン	-	152
JBC	-	-
ZNA	-	-
BMW	688	-
奇瑞汽車(チェリー)	433	-
現代イノコム	3	-
マツダ	480	-
ミニ	41	-
シトロエン	-	-
起亜	13	-
プジョー	121	6
プロドゥア	27,220	-
プロトン	12,774	-
金龍客車(King Long)	0	-
中国重汽(シノトラック)	-	0
ルノー	-	-
スバル	-	-
日産自動車	541	37
ボルボ	491	-
日野自動車	-	6
いすゞ自動車	-	378
北奔重型汽車(BeiBen)	-	-
JAC	-	0
スカニア	-	28
UDトラック	-	25
ゴールデンドラゴン	0	-
ボルシェ	144	-
JMC	-	0
広州汽車集団(GAC)	61	-
合計	55,301	2,762

単位：台、メルセデス・ベンツ(乗用車)は四半期ベースでの報告  
 \*CAMC含む 出所：マレーシア自動車協会(MAA)



【マレーシア—車両】

# アウディが現地生産開始、東南アで初

ドイツ自動車大手フォルクスワーゲン（VW）傘下、アウディは 24 日、マレーシアで主力のスポーツタイプ多目的車（SUV）「Q7」の現地生産を開始した。東南アジアでは初の現地生産となる。現地生産によって、価格競争力の向上と納期短縮を見込む。国営ベルナム通信などが伝えた。

Q7 は、7 人乗りのマイルドハイブリッド車（MHEV）。マレーシア市場向けに、パハン州ブカンにあるフ

ォルクスワーゲン・グループ・マレーシアの組立工場で生産する。来月の販売を予定し、価格は 46 万 9,000 リンギ（約 1,530 万円）から。

同工場は、東南アジア唯一のアウディ生産施設となる。将来的には他モデルも含めて年間 5,000 台のアウディ車を生産する計画で、初期投資額は 1,200 万リンギ超。近隣国への輸出や電気自動車（EV）の生産も視野に入れる。

【マレーシア—化学】 《日系進出》

# 広島大発バイオベンチャー、地域拠点設立



プラチナバイオはマレーシアに地域拠点を設立した=23日、スランゴール州（NNA撮影）

広島大学発のスタートアップ、プラチナバイオ（広島県東広島市）は 23 日、東南アジア進出を目指し、マレーシアに地域拠点を設立したと発表した。

マレーシア法人プラチナバイオ・アジアは、首都圏スランゴール州サイバージャヤで 3 月に設立。現地人材の採用も開始し、事業拡大を目指す。ディープレック系のスタートアップを支援するリバナス（東京都新宿区）がマレーシア進出を支援した日系企業としては 3 社目となる。

プラチナバイオは、ゲノム編集技術でアレルギーを引き起こす物質を除去した「アレルギー低減卵」などの開発を手がけ、日本では来年の商品化を目指している。

奥原啓輔最高経営責任者（CEO）は、生物多様性に富んだマレーシアでは、ゲノム編集のみならず、さまざまな生物資源から得られるゲノム情報の収集・デジタル化にも取り組んでいきたいと話した。

PHOTO NEWS



タイのペートンタン首相は 24 日、カンボジアのシハモニ国王に謁見した（タイ政府提供）

10年ぶりに訪れたインドの経済規模は、当時の約2倍。世界10位から、現在は5位につける。300万台ほどだった自動車の販売数は、500万台を超えて東南アジアでの販売数を全て足したよりも多い。堂々たる経済大国だ。ターバンを巻いた隣の席の乗客は、はじめにシヤンパンを頼んで断られ、ビールを飲み続けていた。途中から話しかけてきて、トイレに行くために巨体を揺らして離席を繰り返した挙句に近くの乗客と口論になった。どこでも自分たちのホームとばかりに振る舞えるのは、たぶん国民性だろう。居酒屋のような雰囲気になりかけた機内で大団の強さの片りんに触れた気分になった。(小)

TAKE OFF

**NNAアプリ、サービス開始!**

アジアのビジネス情報をタイムリーにキャッチ。日々の情報収集をスマートに!

ダウンロードはこちらから




**R M 1 = 32.6円、\$ 1 = R M 4.38 (24日)****為替 (24日午後5時時点)**

1 リング = 32.5882 円、100 円 = 3.0686 リング  
 1 米ドル = 4.3770 リング、1 ユーロ = 4.9812 リン  
 ギ  
 (マレーシア中央銀行)

**株価 (24日終値)**

クアラルンプール総合指数 (K L C I)  
 = 1,506.52 (前日比プラス5.33ポイント)  
 (マレーシア証券取引所)

**【マレーシア—金融】****イオンクレ、ス州セパンサーキットと提携**

イオンクレジットサービス(マレーシア)はセパン・インターナショナル・サーキット(SIC)と提携した=23日、クアラルンプール(イオンクレジットサービス《マレーシア》提供)

イオンフィナンシャルサービスのマレーシア子会社イオンクレジットサービス(マレーシア)は23日、首都圏スランゴール州セパンの自動車レース場「セパン・インターナショナル・サーキット(SIC)」と提携したと発表した。

イオンクレジットは公式パートナーとして、同サーキットで開催される二輪車レース「ペトロナス・マレーシア・グランプリ(MotoGPマレーシア)」と「マレーシア・スーパーバイク・チャンピオンシップ(MSBK)」で、来場者向けに金融サービス商品の販促活動を展開する。

両社は提携を通じ、ファンの体験向上、地域社会に焦点を当てた取り組み、ブランドの存在感を高めることを目指すとしている。

**【マレーシア—経済】****25年成長率、政府公式予想も引き下げか**

マレーシア中央銀行のアブドゥル・ラシード・ガフォル総裁は24日、米国の通商政策など世界経済の先行き不透明感が強まったことを受け、2025年の実質国内総生産(GDP)成長率見通しを下方修正する可能性を示唆した。政府の公式予想では、25年のGDP成長率は前年比4.5~5.5%とされている。ロイター通信が伝えた。

ラシード氏は同日、国際通貨基金(IMF)のイベントに登壇し、成長率の見直しについて言及した。ただ、世界貿易の状況を注視し、見直しについて急ぐつもりはないと付け加えた。

IMFは22日に発表した最新の報告書で、域内全体の先行き不透明感を反映し、マレーシアの25年成長率を4.1%に引き下げている。

国営ベルナマ通信によると、アンワル・イブラヒム首

相兼財務相も24日、IMFの最新報告を受けて、財務省と中銀は成長率の見直しを検討していると認めた。新たな予想値は、5月5日に開催する臨時国会で発表するとしている。臨時国会は、トランプ米政権がマレーシアに課した「相互関税」について協議するために開催する。

マレーシア統計局が18日に発表した25年第1四半期(1~3月)のGDP成長率見込み値は前年同期比4.4%で、伸び率は前期(24年10~12月)の5.0%(速報値)から減速するとみられる。

第1四半期のGDPは、5月16日に発表される予定だ。

**政策金利はインフレ考慮済み=総裁**

第1四半期のGDP成長率発表に先駆けて、5月8日

には金融政策会合が行われる。マレーシアは政策金利の翌日物政策金利（OPR）を 23 年 5 月以降、11 会合連続で年 3.00% に据え置いているが、世界的な貿易戦争の激化や消費者物価指数（CPI）の減速を受け、今会合でついに利下げに踏み切るのではないかと観測が出ている。

ラシード氏は 24 日のイベントで、中銀のインフレ見

通しは現在の政策金利に織り込みで、国内の経済成長を下支えできる水準だとした上で、「金融政策によって不確実性が強まることは望んでいない。最も大切なのは、持続可能な経済成長につながる物価の安定を維持することだ」と強調した。

統計局が 23 日発表した 3 月の CPI は、前年同月比で 1.4% の上昇だった。

## 【マレーシア—経済】

### ジョ州人工島金融特区、30 社超が関心表明

マレーシア・ジョホール州沖合の人工島「フォレスト・シティー」に設置された金融特区（SFZ）で、富裕層の資産を管理する「ファミリーオフィス」2 社がこのほど業務を開始し、ほかにも 30 社余りが進出意向を示していることが分かった。国営ベルナマ通信などが 23 日伝えた。

ジョホール州投資・貿易・消費者・人的資源委員会のリー・ティンハン委員長によると、関心を示している企業のうち 19 社はマレーシア、シンガポール、タイの企業だという。

先に連邦政府が発表した金融特区向け優遇策では、フ

ファミリーオフィスの中でも特に、単一の家族を受益者とする「シングル・ファミリーオフィス」を対象に、設立に際した免税措置を導入した。免税措置を受けるには、マレーシア証券委員会（SC）の認可の下、少なくとも 3,000 万リンギ（約 9 億 7,000 万円）以上の資産を運用しなければならない。

このほか、金融特区に進出する企業は法人税率を最大 5%、特区内で勤務する高度人材およびマレーシア人就労者の個人所得税率を 15% とする優遇措置が受けられる。

## 【マレーシア—経済】

### 投資資産省傘下、デザインで日本 2 機関と提携



マレーシア・デザイン・カウンシル（MRM）は、日本アセアンセンター、日本デザイン振興会と意向表明書（LOI）を交わした=22日、東京（MRMの公式フェイスブックより）

マレーシア投資貿易産業省傘下のマレーシア・デザイン・カウンシル（MRM）は 22 日、日本アセアンセンター（AJC）、日本デザイン振興会（JDP）と東京都内で意向表明書（LOI）を交わした。デザイン分野で協力し、両国と東南アジア諸国連合（ASEAN）全体のデザイン能力向上を目指す。

国営ベルナマ通信によると、マレーシア・デザイン・カウンシルのアミルル・ファドゥリ代表は、意向表明書の締結は 3 者のデザイン教育や展示会の開催、クリエイティブ分野での協力、経済機会の創出などの枠組みになると期待を示した。

マレーシア・デザイン・カウンシルは、今年 12 月にマレーシアの首都クアラルンプールで開催する工業デザインやファッション、マルチメディアに関する会議「KL デザイン・サミット 2025 ASEAN 版」に日本アセアンセンターと日本デザイン振興会を招請した。

## 【マレーシア—経済】

### ナザグループ、廃棄物管理で中国企業と提携

マレーシアのコングロマリット（複合企業）ナザ・グループは、環境関連サービスを手がける中国の翰藍環境（グランドブルー・エンバイロメント、広東省仏山市）

と共同で、廃棄物管理システムの近代化を進める方針だ。24 日付スターが伝えた。

ナザ・グループの環境事業子会社ナザ・エンバイロ・



ホールディングスは、翰藍環境と共同でマレーシアで大規模な固形廃棄物の管理・回収・リサイクル、再生可能エネルギー事業を展開する予定。現在は合併事業に向けた計画と事業化調査を実施している段階で、ステークホルダー(利害関係者)や規制当局と緊密に連携している。

ナザ・グループのS Mナサルディン会長は、翰藍環境との提携について、革新、技術、国際的な協力を通じて、より清潔で緑豊かな環境を築き上げていきたいとコメントした。

## 【マレーシア—資源】

# 国営石油、設備サービス分野で覚書11件締結

マレーシア国営石油ペトロナスは22日、石油・ガスおよび関連サービス・設備(OGSE)分野の近代化に向けて、国内の関連企業・団体と11件の覚書を締結したと発表した。生産性向上や高技能労働者の育成を図る狙いだ。

ペトロナスは石油資源の管理部門マレーシア・ペトリウム・マネジメント(MPM)を通じ、ペトロナスが重点的に推進する目標「海洋構造物の組み立て現場の変革と生産性向上」に関して5社、「高技能労働者の育成」に関して6社・団体と覚書を締結した。

生産性向上に関して覚書を交わした企業は、ブルック・ホールディング(旧ブルック・ドックヤード・アンド・エンジニアリング・ワークス・コーポレーション)

オーシャン・マイト ムヒバ・エンジニアリング(マレーシア) マレーシア・マリン・アンド・ヘビー・エ

ンジニアリング・ホールディングス(MHB) 石油・ガス産業向けサービス業者サブエナジーの完全子会社サブ・ファブリケーション の5社。革新的な技術の統合や労働者の技能開発、市場拡大を通じた生産性の向上などで協力する。

高技能労働者の育成では、石油ガス産業向けの海洋エンジニアリングサービスを手がけるイースタン・パシフィック・インダストリーズ・コーポレーション(EPIC)の子会社EPIC OG(採掘用リグの製造) HHAアソシエーツ(プラスチック加工と塗装) ペトラ・リソース(足場の組み立て) サブ・ファブリケーション(溶接) ターコンプ・エンジニアリング・サービス(継手) マレーシア・オフショア支援船主協会(MOSVA、航海) の6社・団体と覚書を交わした。

## 【マレーシア—公益】

# 建設MN、クダ州の太陽光発電設備の工事受注

マレーシアの建設会社で地下インフラ・変電所工事を専門とするMNホールディングスは23日、クダ州の太陽光発電施設に関連する工事2件を受注したと発表した。契約額は計2,970万リンギ(約9億6,000万円)。

完全子会社MNパワー・トランスミッションが工事を請け負う。発注先は、太陽光発電設備の設置を手がける地場サンビュー・グループの完全子会社ファビュラス・サンビュー。

ファビュラス・サンビューがクダ州クアラムダのス

ンガイプタニ地区に建設する2カ所の太陽光発電施設(各設備容量29.99メガワット=交流)で、系統連系設備(IF)を整備する。ファビュラス・サンビューから正式な着工通知命令を受け取ってから、10カ月以内に工事を完了する予定だ。

ファビュラス・サンビューは昨年12月、地場発電施設運営会社のダヤシナル・エナジーとソーラースペース・エナジーから、スンガイプタニ地区の太陽光発電施設2カ所の建設事業を受注していた。

## 【マレーシア—運輸】

# 首都空港、中国鄭州と「ツインハブ」推進

マレーシアと中国は、クアラルンプール国際空港(KLIA)と新鄭国際空港(河南省鄭州市)を「ツインハブ」とし、航空物流の強化で協力する。マレーシアのアンソニー・ローク運輸相が23日、明らかにした。国営ベルナマ通信が伝えた。

ローク氏によると、航空物流や専門知識・技術での相

互協力を通じ、両空港の関係を強化する。また、政府や業界の代表者が参加するハイレベルフォーラムの開催も計画している。

これに先立ち、河南省の航空業界関係者を含む代表団がマレーシアを訪れ、ローク氏を表敬訪問していた。

## 【マレーシア—運輸】

## 中国の吉祥航空、6 月に上海—K L 線就航

中国の中堅航空会社、上海吉祥航空（上海市）が、上海とマレーシアの首都クアラルンプール（K L）を結ぶ新路線を 6 月に就航する。同社のマレーシア線はペナン線に次ぐ 2 路線目となる。国営ベルナマ通信が伝えた。

6 月 28 日から週 4 便で運航を開始する。往路は月、火、木、土曜で、上海浦東国際空港を午後 5 時 50 分（現地時間、以下同）発、クアラルンプール国際空港（K L I A）に午後 11 時 45 分着。復路は火、水、金、日曜

で、クアラルンプールを午前 0 時 45 分発、上海に午前 6 時 15 分着。

吉祥航空は昨年 5 月 31 日に上海 ペナン線を就航した。ペナン州観光・創造経済委員会のウォン・ホンワイ委員長は、上海 ペナン線、上海 クアラルンプール線の相乗効果で、観光客の倍増も見込まれると期待を示した。

## 【マレーシア—医薬】

## サンウエー、プトラジャヤに三次救急病院建設

マレーシアの不動産開発大手サンウエー・グループの医療部門サンウエー・ヘルスケア・グループは 24 日、地場不動産開発会社プトラジャヤ・ホールディングスと行政都市プトラジャヤに病院を建設すると発表した。高度な救命救急医療サービスを提供する三次救急に対応する。

エッジ（電子版）によると、病院はプレシント 7 地

区に建設される予定で、プトラジャヤ・ホールディングスが今年 11 月に開業を予定する商業地区「デスティナ・プトラジャヤ」に隣接する。

ベッド数は 300 床以上となる見通し。やけど治療専門の治療室を設けるなど高度な医療と専門治療サービスを提供し、プトラジャヤだけではなく、首都圏南部の患者の需要に応える。

## 【マレーシア—IT】

## 24 年のスマホ世帯保有率は 97.9% = 統計局

マレーシア統計局が 24 日発表した 2024 年版情報通信技術（ICT）機器の利用に関する調査によると、24 年のスマートフォンの世帯保有率は 97.9% となり、前年から 0.3 ポイント上昇した。一方、スマホ以外の携帯電話の保有率は 16.0% となり、前年から 0.3 ポイント低下した。携帯電話全体では 99.5% に上った。

世帯でのインターネット利用率は 96.8% で、前年から 0.4 ポイント上昇。都市部と農村部の利用率は、それぞれ 98.8%、90.3% だった。

このほか、ラジオ、テレビの世帯保有率は各 99.5%、コンピューターは 92.2%、固定電話は 27.9% で、それ

ぞれ前年から増加した。有料テレビは 67.1% となり、前年から 9.9 ポイント減少した。

インターネット、コンピューター、携帯電話端末（スマホを含む）の個人の利用率はそれぞれ 98.0%、80.7%、99.5% となった。インターネットの利用目的については、「交流サイト（SNS）への参加」が 99.7% で最も多かった。以下、「写真・音楽などのダウンロードやゲーム」が 94.3%、「商品・サービスの情報収集」が 93.0%、「ソフトウェアやアプリのダウンロード」が 90.0%、「IP 電話」が 86.3% で続いた。

## 【マレーシア—サービス】

## ベルジャヤ、アイスランドでスタバ出店

マレーシアのコングロマリット（複合企業）ベルジャヤ・コーポレーション傘下の飲食大手ベルジャヤ・フードは 23 日、来月アイスランドで米コーヒーチェーン「スターバックス」を 2 店舗開業すると明らかにした。

ベルジャヤ・フードは昨年、アイスランド、デンマーク、フィンランドでのスターバックス店舗のフランチャイズ運営権を取得していた。

地元各紙によると、子会社ベルジャヤ・フード・インターナショナルを通じて、1 号店はアイスランドの首都レイキャビクの主要商業地区に開業する。2 号店は新港地区で開業の予定。正式な開業日は追って発表としている。

ベルジャヤ・フードは、20 年以上にわたりマレーシアでスターバックスをフランチャイズ展開している。



## 【マレーシア—社会】

## 消防救助局、火災安全規則を強化

マレーシアの消防救助局（JBPM）は近く、火災安全規則を強化する。消防訓練サービス事業者やインストラクターへの登録義務付けが柱となる。スターが24日に伝えた。

3月に消防法改正案が成立したのを受けた措置。民間の消防訓練サービス事業者とインストラクターに登録を義務付け、違反した場合は10万リンギ（約323万円）以下の罰金を科す。国内では現在、13社が消防訓練サービスを提供しているという。

また、防火戸や煙・熱感知器、スプリンクラーなど防火設備の登録も義務化する。未登録の防火設備を販売、設置した場合、50万リンギ以下の罰金、5年以下の禁錮刑、またはその両方を科す。

消防コンサルタント、消防コンサルティング会社、技術者、消防サービス会社も登録の対象となる。未登録の技術者や会社がサービスを提供した場合、5万リンギ以下の罰金、3年以下の禁錮刑、またはその両方を科す。

## 【マレーシア—社会】

## 政府、ミャンマー被災地に野戦病院開設

マレーシア政府は21日、ミャンマー中部で発生した大地震の被災地に対する人道支援の一環として、ミャンマー北部ザガイン地域の中心都市ザガインに野戦病院を設置した。イレブン（電子版）が22日伝えた。

マレーシア外務省の発表によると、同省と国防省が主導して設置した野戦病院は、救急治療室と手術施設を備え、医師、看護師、支援スタッフなど訓練を受けた医療関係者による約70人余りのチームが常駐する。特に被災者や弱者層に対する安全、公平、効果的な医療を提供するため、地元当局と協力しながら30日間運営する。

野戦病院の運営に当たるチームは、18日早朝にマレーシアの首都クアラルンプール郊外の空軍基地を出発し、現地入りした。

マレーシア政府は「人道的価値観と困窮している近隣諸国の幸福に対するマレーシアの確固たる関与を示すものだ。マレーシアは東南アジア諸国連合（ASEAN）議長国として、危機の際にミャンマーの人々と連帯し、最も緊急に必要なとされる人命救助の支援を行っている」と説明した。

## その他アジア情報

## 【台湾—電機】

## 東南アの中国系太陽電池に関税、台湾に追い風

米政府が21日、東南アジアから輸入する太陽電池について、高関税を課すことを最終決定し、最大3521%となると伝えられたことを受け、台湾の太陽電池メーカーからは台湾勢の追い風になるとの声が上がった。一方で、これらの国で生産された太陽電池が台湾向けにダンピング（不当廉売）されないか注意が必要だとの声もある。経済日報、工商時報、中央通信社が伝えた。

米政府は21日、中国企業の不当に安い太陽電池が東南アジアから米国に輸入されているとして、マレーシア、カンボジア、タイ、ベトナムからの太陽光発電製品に対して最大3521%の関税を課すと発表した。

台湾の元晶太陽能科技（TSEC）はこれについて、台湾企業の米市場における競争緩和につながるの見方を示した一方、東南アジアのこれらの国が過剰な生産能力を消化するため、台湾向けにダンピングを行う可能性がある」と指摘した。

茂迪（モーテック・インダストリアル）の葉正賢総経理は、米中対立の影響で、中国資本の企業が海外投資している電池やモジュール工場は、閉鎖の危機に直面すると予想。ただし、既存の在庫は米国以外の台湾を含む各地に投げ売りされることになるとの見解も付け加えた。

### 碩禾は米工場を設置へ

こうした状況の中、太陽電池材料メーカー、碩禾電子材料（ギガソーラー・マテリアルズ）は22日、米カリフォルニア州に太陽電池モジュールの工場を設け、今年6月に稼働する計画だと発表した。

同社が米国に生産拠点を設けるのは初めて。初期の年間生産能力は550メガワット（1メガワット=1,000キロワット）で、向こう2年で2,000メガワットに拡張する計画だ。

【シンガポール—IT】

## 東大発新興と地場、保険の電話対応 AI 導入へ

人工知能（AI）の研究・実装・製品開発を手がける東京大学発のスタートアップ企業、スパークプラス（Spark+、東京都文京区）は 24 日、ライフネット生命保険（東京都千代田区）シンガポールの AI 関連サービス企業 ダイナ・AI テクノロジー（Dyna.AI Technology）と保険分野での電話対応の効率化・自動化に向けた協働プロジェクトを開始したと発表した。

スパークプラスとダイナ・AI が共同で開発したコールセンター業務特化型の音声エージェント（音声対話を通じてユーザーとやりとりを行いタスクを実行する AI システム）「ボイス GPT」の日本語版をライフネット生命の電話対応業務に導入し、保険業界に求められる

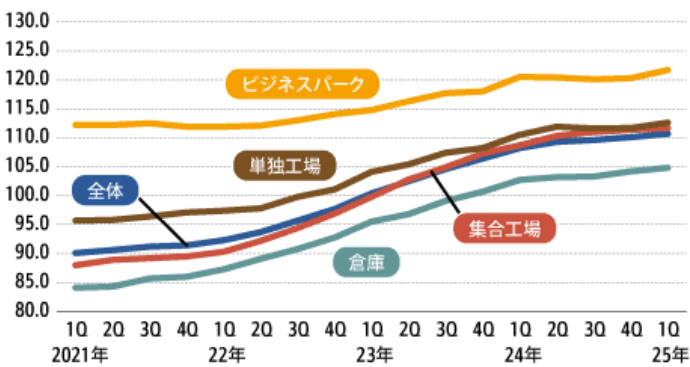
精度の高い迅速な顧客対応の実現を目指す。

具体的にはダイナ・AI が構築した 200 ミリ秒以内で軽量応答を可能にする音声 AI モデルを活用し、スパークプラスが日本語に特化したモデルを構築するための日本語音声データを独自に作成、提供する。ライフネット生命はボイス GPT を業務に組み込み、モデルの評価を行う。ボイス GPT が過去の問い合わせ履歴を分析し、状況に応じた的確な対応を即座に実行できるようにすることで、コールセンターでは少人数でも質の高い対応能力を維持することが可能となる。将来的にはボイス GPT を保険契約の勧誘・販売などを行う保険募集分野で活用することを目指す。

【シンガポール—建設】

## 工業不動産賃料、1～3 月期は 2.3% 上昇

工業不動産の賃料指数推移



※12年4Q=100

出所：JTC

シンガポール政府系の工業団地運営機関 JTC コーポレーションが発表した統計で、国内の工業不動産の賃料指数（2012 年 10～12 月期 = 100）は 25 年 1～3 月期に 110.7 となり、前年同期から 2.3% 上昇した。3.5% 上昇した前四半期からは伸びがやや鈍化した。

種類別で最も上昇率が高かったのは中小企業の利用が多い集合工場で 2.8%。上げ幅は前四半期の 3.8% か

ら鈍化した。これに倉庫が 2.0%、単独工場が 1.9% で続いた。ビジネスパークは 1.0% だった。

全体の入居率は 89.0% となり、前四半期から横ばいだったが、前年同期からは 0.3 ポイント上昇した。入居率が最も高かったのは集合工場で 91.3%。倉庫は 90.5%、単独工場は 88.6%、ビジネスパークは 75.9% だった。

JTC は「25 年 4～12 月期に延べ床面積 70 万平方メートル、26 年にはさらに 150 万平方メートル分の工業スペースが新規供給される見通しだ。急激な景気後退が起きない限り、入居率と賃料は安定して推移する」との見方を示している。

2025 年 1～3 月期の工業不動産

	賃料			入居率
	指数	前四半期比	前年同期比	
全体	110.7	0.5	2.3	89.0
集合工場	111.7	0.3	2.8	91.3
単独工場	112.6	0.8	1.9	88.6
ビジネスパーク	121.7	1.2	1.0	75.9
倉庫	104.8	0.6	2.0	90.5

※単位：前四半期比と前年同期比は伸び率（%）、入居率は% 出所：JTC

【インドネシア—IT】

## シャープ半導体子会社、事業売却で連結外へ

シャープは 23 日、親会社で EMS（電子機器の受託製造サービス）世界最大手の台湾・鴻海精密工業に、半導体とレーザー事業を手がける子会社シャープ福山レーザー（SFL、広島県福山市）を売却すると発表した。これに伴い同社のインドネシア子会社シャープ・セミコンダクター・インドネシア（SSI）がシャープの連結から外れる。

シャープは SFL を 7 月 1 日付で会社分割して事業の権利義務を継承させた上で、9 月 29 日付で鴻海の子会社鴻元国際投資に全株式を譲渡する予定。売却額は 155 億円。シャープは約 51 億円の売却損失を見込んでいる。

SSI は 1995 年設立で、資本金は 2,632 万 9,000 米ドル（約 37 億 5,940 万円）。西ジャワ州カラワンの工業

団地に拠点を構え、半導体レーザーの製造・販売を手がけてきた。シャープは、家電など自社ブランドに強みを持つ製品・サービスを中心とする「ブランド事業」に注

力する中で、鴻海からの提案を受けて株式譲渡を決定したとしている。

## 【インドネシア—車両】

### ジャカルタの自動車燃料税、5%に引き下げ

インドネシアの首都ジャカルタ特別州のプラモノ・アヌン知事は23日、自動車燃料税(PBBKB)の税率引き下げを決定したと明らかにした。税率は自家用車を現行の10%から5%、公共交通車両を同5%から2%にそれぞれ下げる。テンポ(電子版)などが伝えた。

プラモノ氏は「ジャカルタ特別州知事の決定で、すぐに州知事令を制定する」と述べた。

同州政府は、地方税などに関するジャカルタ特別州知事令『2024年第1号』で、24年1月5日からPBBKBの税率をそれまでの5%から10%に引き上げていた。

PBBKBは、付加価値税(VAT)課税前の価格を基準に課され、徴収は自動車燃料の供給事業者によって行われる。

## 【タイ—サービス】

### 料理宅配フードパンダ、5月にタイ撤退

ドイツ系の料理宅配サービス「フードパンダ」をタイで運営するデリバリーヒーロー(タイランド)は23日、5月23日に事業を停止すると発表した。競争激化により赤字経営が続いていることから撤退し、タイ以外のアジア市場に経営資源を振り向ける。

タイ事業は13年間赤字が続き、一度も黒字を計上できなかった。2023年の最終損失は5億2,200万バーツ(約22億円)だった。売上高は38億4,000万バーツだった。19~23年の累積損失は133億6,000万バーツに達している。

通信アプリ「LINE(ライン)」をタイで運営するライン・タイランドの傘下企業で、食事宅配と配車サービスを手がけるラインマン・ウォンナイ(LINE MAN Wongnai)が、フードパンダのタイ事業を買収する計画だと報じられたが、実現はしなかった。

デリバリーヒーロー(タイランド)の親会社でドイツ拠点のデリバリーヒーローは、タイ事業を停止する一方で同国を拠点に展開している周辺各国への支援業務は継続すると明らかにしている。

## NNAアジアビジネスデータバンク 2025年版

現地社員給与動向、基礎統計データでビジネスを強力サポート!

### 給与動向

アジア12カ国・地域を対象としたNNAアンケート調査による日系企業2,000社以上の現地社員給与、昇給、賞与の最新データ

特徴

- 調査結果をまとめたPDF版を掲載
- 検索機能から必要なデータの閲覧が可能(期間、地域、業種、部門、職位別)
- 資料作成に役立つダウンロード機能

内容

- 給与額 ● 昇給率(実績、予定、実施の有無等)
- 賞与(支給月数、支給月、支給の有無等)
- 福利厚生、労務関連について

### 基礎統計

GDP、CPIなど約100項目のマクロデータを年推移で掲載

給与戦略策定の  
必須データ

【対象国・地域】中国、香港、台湾、韓国、シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナム、ミャンマー、インド

【商品形態】Webデータベース

※2025年11月末まで使用可能なIDを発行いたします

【販売価格】66,000円(税抜価格60,000円) / 1カ国・地域

※回社割引、有料サービス契約者割引、複数国契約割引あり  
※海外での価格はお近くのNNAまでお問い合わせください



## 【フィリピンサービス】

## 物語コーポ、比にハンバーグ専門店

外食大手の物語コーポレーション（愛知県豊橋市）は 24 日、ハンバーグ専門店「肉肉大米（NIKU NIKU OH!! KOMÉ）」をフィリピンに出店すると発表した。マニラ首都圏パサイ市の商業施設「S M モール・オブ・アジア（MOA）」で 25 日にプレオープンする。同社のフィリピンへの出店は初めて。

現地パートナー企業とのフランチャイズ店舗となる。座席数は 41 席。客席の目の前で調理することで、できたてのハンバーグを提供する。「ハンバーグ 2 個セット」

「ハンバーグ 3 個セット」「チーズハンバーグ 2 個セット」などのセットメニューを用意。価格はそれぞれ 599 ペソ（約 1,510 円）、699 ペソ、799 ペソ。

物語コーポは、経済成長や人口増加により、フィリピンは外食産業の拡大が見込める市場と評価しており、市場動向を注視しながら 2 号店以降の出店を検討していく。肉肉大米は現在、中国本土と香港で計 30 店舗を運営している。

## 【ベトナム車両】

## シマ商会がハノイに現法、建機循環へ

トラックや建設機械の販売・買い取り・リサイクル、中古自動車の輸出などを手がけるシマ商会（福島県南相馬市）は 23 日、ベトナムの首都ハノイ市に現地法人、シマ J P ベトナムを設立したと発表した。建機のサーキュラーエコノミー（循環型社会）を創造するとしている。

22 日付で設立した。資本金などの詳細は非開示。資源

の有効活用を設立の理念に掲げ、地域と共存しながら、建機の循環を実現させる考えだ。

シマ商会は日本でトラックの販売・買い取り拠点「グットラック」を 8 カ所展開しているほか、中古自動車や部品を 100 カ国に輸出している。

## アジア関連人事情報

## フコクほか

企業のアジア関連人事（4 月 24 日発表）

フコク

（6 月 1 日）辻口 真弓【新】フコク（上海）貿易財務部長（中国）【旧】管理本部 総務部 担当課長

（7 月 1 日）高山 嵩【新】上海フコク 董事長総経理（中国）【旧】フコク（上海）貿易 董事副総経理 兼 上海フコク 董事副総経理（中国）

（7 月 1 日）宮山 禎康【新】フコク（上海）貿易 董事長総経理（中国）【旧】営業本部 副本部長 兼 第 3 営業部 部長

（7 月 1 日）中井 智【新】社長室 グローバル推進

【旧】フコク（上海）貿易 董事総経理 兼 上海フコク 董事長総経理（中国）

企業のアジア関連人事（4 月 23 日発表）

住友電気工業

（5 月 1 日）掛川 天仁【新】Sumitomo Electric Hardmetal (Thailand) Ltd. 社長（タイ）【旧】ハードメタル事業部 直需営業部 主幹

（5 月 1 日）二越 正史【新】Sumitomo Electric Hardmetal (Thailand) Ltd. （タイ）【旧】Sumitomo Electric Hardmetal (Thailand) Ltd. 社長（タイ）

# NNA 倶楽部

アジアビジネスをもっと身近に

《 会員登録無料 》

最新動向が毎朝届く！

ビジネス  
メール

トレンドをチェック！

ウェブマガジン &  
PDF

(Bloombergより作成)

海外主要市場の商品市況

取引所・時間	銘柄	直近値	前日比	取引所・時間	銘柄	単位	直近値	前日比
LME (23日 終値)	銅先物	9382.50	13.50	NYMEX (23日 終値)	WTI原油先物	バレル	62.24	-0.03
	銅現物	9363.38	10.91		天然ガス先物	MMBTU	3.005	-0.02
	アルミニウム先物	2432.00	52.00		ガソリン先物	ガロン	208.01	-0.38
	アルミニウム現物	2399.19	52.15	COMEX (23日 終値)	灯油先物	ガロン	212.64	-0.05
	すず先物	31314.00	186.00		金先物	トロイオンス	3324	29.90
	すず現物	31096.99	190.99	SICOM(24日 終値)	銀先物	トロイオンス	33.905	0.04
	鉛先物	1946.00	22.50	シカゴ (23日 終値)	ゴムRSS3先物	キログラム	221.00	0.20
	鉛現物	1926.00	18.39		小麦先物	ブッシェル	543.5	-6.75
	ニッケル先物	15662	-20.00		大豆先物	ブッシェル	1050.25	4.25
	ニッケル現物	15550	25.00	ICE(23日 終値)	トウモロコシ先物	ブッシェル	479.25	-4.00
	亜鉛先物	2639.5	43.50		砂糖先物	ポンド	17.88	-0.08
	亜鉛現物	2598.64	44.67	日本(24日19時32分)	ナフサCIF価格	トン	588.5	13.75
上海 (24日 終値)	亜鉛先物	22540	125.00	ドバイ(24日14時32分)	ドバイ原油	バレル	65.74465	-1.96
	金先物	788.42	-21.80	SICOM=シンガポール商品取引所				
	鉛先物	16920	50.00	ICE=インターコンチネンタル取引所 (アメリカ/アトランタ)				
	銅先物	77870	-120.00	※括弧内のデータ取得時間はいずれも現地時間				
	鋼線先物	3329	-36.00	※限月はLME先物が3カ月、そのほかは中心限月				
	アルミニウム先物	19905	90.00	※LME、上海の単位：上海・金(グラム)を除き全てトン				

LME=ロンドン金属取引所

NYMEX=ニューヨーク・マーカンタイル取引所

COMEX=ニューヨーク商品取引所

SICOM=シンガポール商品取引所

ICE=インターコンチネンタル取引所 (アメリカ/アトランタ)

※括弧内のデータ取得時間はいずれも現地時間

※限月はLME先物が3カ月、そのほかは中心限月

※LME、上海の単位：上海・金(グラム)を除き全てトン

※値：SICOM、シカゴは米セント。上海は中国元。それ以外は米ドル

※ナフサCIF価格の取引所欄にある日本は日本向け

■為替クロスレート 2025/4/24 19:30 JST (日本標準時)

通貨コード	JPY	USD	EUR	GBP	CNY	HKD	TWD	KRW	THB	VND	MYR	SGD	IDR	PHP	INR	AUD	NZD
日本円		0.0070	0.0062	0.0053	0.0512	0.0545	0.2285	10.0817	0.2348	182.849	0.0307	0.0092	118.511	0.3966	0.5989	0.0110	0.0117
米ドル	142.3700		0.8836	0.7544	7.2875	7.7582	32.5280	1435.34	33.4370	26028.0	4.3723	1.3111	16873.0	56.5620	85.2688	1.5657	1.6720
ユーロ	162.280	1.1317		0.8537	8.2475	8.7802	36.8130	1624.42	37.8418	29456.8	4.9483	1.4838	19095.7	64.0131	96.5016	1.7719	1.8922
英国ポンド	190.082	1.3256	1.1714		9.6600	10.2839	43.1177	1902.62	44.3226	34501.6	5.7957	1.7379	22366.1	74.9761	113.0286	2.0754	2.2163
中国人民幣	19.5360	0.1372	0.1212	0.1035		1.0646	4.4635	196.959	4.5883	3571.60	0.6000	0.1799	2315.33	7.7615	11.7007	0.2148	0.2294
香港ドル	18.3505	0.1289	0.1139	0.0972	0.9393		4.1927	185.009	4.3099	3354.90	0.5636	0.1690	2174.86	7.2906	10.9908	0.2018	0.2155
台湾ドル	4.3767	0.0307	0.0272	0.0232	0.2240	0.2385		44.1263	1.0279	800.172	0.1344	0.0403	518.722	1.7389	2.6214	0.0481	0.0514
韓国ウォン	0.0992	0.0007	0.0006	0.0005	0.0051	0.0054	0.0227		0.0233	18.1337	0.0030	0.0009	11.7554	0.0394	0.0594	0.0011	0.0012
タイバーツ	4.2585	0.0299	0.0264	0.0226	0.2179	0.2320	0.9728	42.9267		778.419	0.1308	0.0392	504.621	1.6916	2.5501	0.0468	0.0500
ベトナムドン	0.0055	0.00004	0.00003	0.00003	0.00028	0.00030	0.0012	0.055	0.0013		0.0002	0.0001	0.6483	0.0022	0.0033	0.00006	0.0001
マレーシアリンギ	32.5810	0.2287	0.2021	0.1725	1.6667	1.7744	7.4396	328.280	7.6475	5952.93		0.2999	3859.07	12.9364	19.5020	0.3581	0.3824
シンガポールドル	108.5880	0.7627	0.6739	0.5754	5.5583	5.9173	24.8097	1,094.760	25.5030	19852.0	3.3348		12869.35	43.1409	65.0361	1.1942	1.2752
インドネシアルピア	0.0084	0.00006	0.00005	0.00004	0.00043	0.00046	0.0019	0.0851	0.0020	1.5426	0.0003	0.0001		0.0034	0.0051	0.0001	0.0001
フィリピンペソ	2.5215	0.0177	0.0156	0.0133	0.1288	0.1372	0.5751	25.3764	0.5912	460.168	0.0773	0.0232	298.310		1.5075	0.0277	0.0296
インドルピー	1.6696	0.0117	0.0104	0.0088	0.0855	0.0910	0.3815	16.833	0.3921	305.246	0.0513	0.0154	197.88	0.6633		0.0184	0.0196
オーストラリアドル	90.9110	0.6387	0.5644	0.4818	4.6545	4.9552	20.7756	916.75	21.3562	16624.1	2.7926	0.8374	10776.79	36.1261	54.4612		1.0679
ニュージーランドドル	85.1330	0.5981	0.5285	0.4512	4.3587	4.6402	19.4550	858.477	19.9987	15567.3	2.6151	0.7842	10091.74	33.8297	50.9993	0.9364	

NNAは、メディア事業を通じて、グローバルビジネスにかかわるすべての人と企業に貢献します。

■NNAグループ

[https://www.nna.jp/corp\\_contents/company/office](https://www.nna.jp/corp_contents/company/office)

【東京】株式会社NNA 本社

【福岡】株式会社NNA 福岡支局

【韓国】NNA JAPAN CO., LTD. SEOUL BUREAU、SEOUL BRANCH

【上海】上海時迅商務諮詢有限公司

【北京】上海時迅商務諮詢有限公司 北京分公司

【広州】上海時迅商務諮詢有限公司 広州分公司

【香港】NNA HONG KONG CO., LTD.

【台湾】香港商亞洲信息網絡有限公司台湾分公司

【フィリピン】NNA PHILIPPINES CO., INC.

【タイ】NNA (THAILAND) CO., LTD.

【ベトナム】NNA VIETNAM CO., LTD.

【マレーシア】NNA (MALAYSIA) SDN. BHD.

【シンガポール】NNA SINGAPORE PTE. LTD.

【インド】NNA SINGAPORE PTE. LTD. (INDIA LIAISON OFFICE)

【インドネシア】PT. NNA INDONESIA

■提携会社

【オーストラリア】NNA AUSTRALIA PTY. LTD.

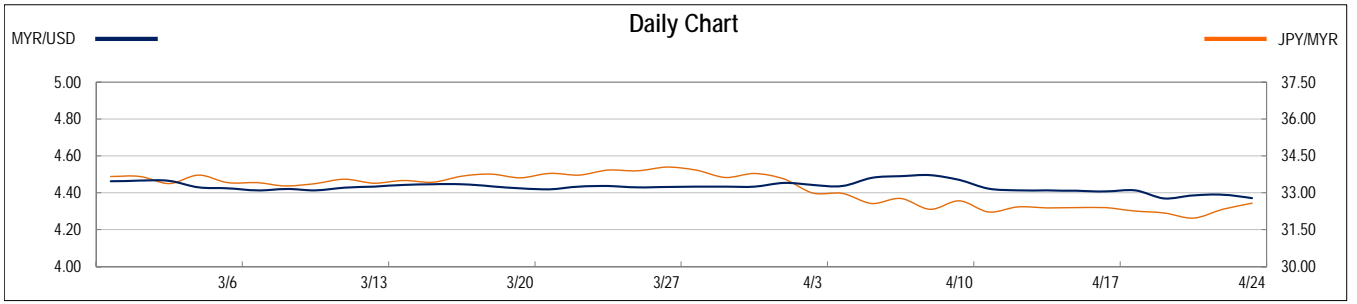
【英国】Economic Media Bulletin Limited (EMB)

Bloombergより作成の参考値

# マーケット情報 為替と株式

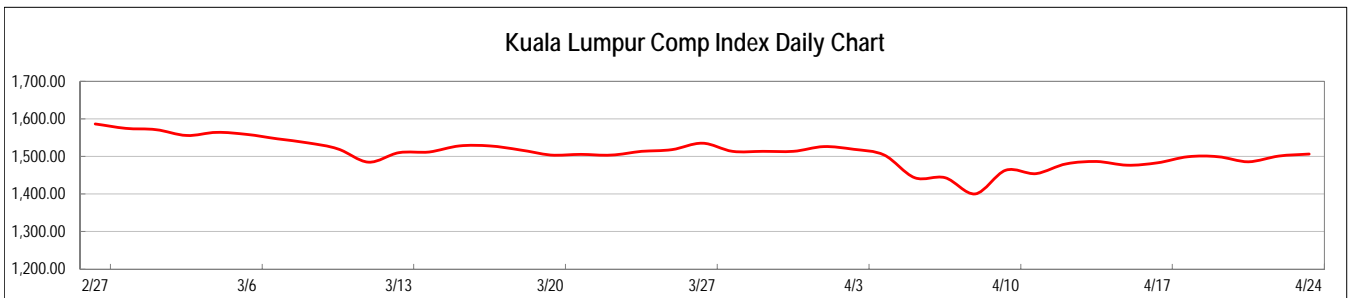
為替											
地域	現地通貨	更新	JPY/現地	現地/USD	現地/EUR	地域	通貨	更新	JPY/現地	現地/USD	現地/EUR
オセアニア	ニュージーランドドル	24日	85.1330	1.6720	1.9042	アジア	ベトナムドン	24日	0.005469	26,028.00	29,643.00
	オーストラリアドル	24日	90.9110	1.5657	1.7831		欧州	ユーロ	23日	162.2800	0.8836
アジア	日本円	24日	1.0000	142.370	162.130	英国ポンド		23日	190.0820	0.7544	0.8537
	韓国ウォン	24日	0.09919	1,435.340	1,634.680	スイスフラン		23日	172.7190	0.8302	0.9396
	中国人民元	24日	19.5360	7.2875	8.2999	デンマーククローネ		23日	21.7393	6.5966	7.46570
	香港ドル	24日	18.3505	7.7582	8.8354	ロシアルーブル		23日	1.7316	82.8896	93.9275
	台湾ドル	24日	4.3767	32.5280	37.0254	ハンガリーフォリント		23日	0.39706	361.1900	408.7100
	フィリピンペソ	24日	2.5215	56.5620	64.3700	ポーランドズロチ		23日	37.8990	3.7836	4.2819
	シンガポールドル	24日	108.5880	1.3111	1.4931	チェココルナ		23日	6.4922	22.0903	24.9970
	マレーシアリング	24日	32.5810	4.3723	4.9776	スウェーデンクローナ		23日	14.7896	9.6991	10.9776
	タイバーツ	24日	4.2585	33.4370	38.087	北米		米ドル	23日	143.4000	1.0000
	インドネシアルピア	24日	0.008438	16,873.00	19,202.75		カナダドル	23日	103.3120	1.3881	1.5711
インドルピー	24日	1.6696	85.2688	97.0750	中南米	メキシコペソ	23日	7.3028	19.6369	22.2226	

オセアニア・アジア：19:30 JST(日本標準時)、欧州・北米・中南米：06:00 JST(日本標準時) 時点



株式															
地域	マーケット	指数	更新	終値	前営業日比	年初比	地域	マーケット	指数	更新	終値	前営業日比	年初比		
オセアニア	ウェリントン	NzSX50	24日	12,017.84	61.37	-1,049.99	アジア	ジャカルタ	JSX	24日	6,613.48	-20.90	-549.73		
	シドニー	ASX	24日	8,175.10	49.90	-289.90		マニラ	Composite PSE	24日	6,158.48	-10.00	-391.91		
アジア	東京	日経平均	24日	35,039.15	170.52	-4,267.90	ホーチミン	ベトナム株価指数	24日	1,223.35	12.35	-46.36			
		TOPIX	24日	2,592.56	8.24	-163.82		ムンバイ	SENSEX30	24日	79,801.43	-315.06	-142.28		
	ソウル	総合	24日	2,522.33	-3.23	123.39	欧州	ロンドン	FTSE 100	23日	8,403.18	74.58	143.09		
		KOSDAQ	24日	726.08	0.00	39.45		フランクフルト	DAX	23日	21,961.97	668.44	1,937.31		
	上海	B株	24日	254.83	-0.21	-7.97		パリ	CAC40	23日	7,482.36	155.89	88.60		
	深セン	B株	24日	1,174.25	-4.51	-27.78		アムステルダム	AEX	23日	869.67	12.46	-17.50		
	香港	ハンセン	24日	21,909.76	-162.86	2,286.44		ミラノ	FTSEMIB	23日	36,457.68	509.79	2,082.91		
		ハンセンH	24日	8,056.85	-59.43	966.29		マドリード	IBEX35	23日	13,208.30	197.70	1,531.40		
	台北	加権	24日	19,478.81	-160.33	-3,353.25		ブリュッセル	BEL20	23日	4,286.28	47.95	-3.24		
	シンガポール	ST指数	24日	3,831.92	-0.40	31.11		チューリヒ	SMI	23日	11,808.71	162.39	184.69		
クアラルンプール	KLSE総合	24日	1,506.52	5.33	-126.35	北米		ニューヨーク	ダウ	23日	39,606.57	419.59	-2,785.70		
バンコク	SET	24日	1,146.86	-6.91	-232.99			NASDAQ	23日	16,708.05	407.63	-2,572.74			
							トロント	トロント300	23日	24,472.68	166.70	-425.35			

Bloombergより作成







# NNAで

# 広告を

# 出しませんか？

アジアのビジネスパーソン  
78,000人に届く！



お問い合わせ	日本	crossmedia@nna.asia	81-3-6218-4330
	韓国	sales_kr@nna.asia	82-2-736-7955
	台湾	sales_tw@nna.asia	886-2-2521-3070
	香港	sales_hk@nna.asia	852-2802-6303
	フィリピン	sales_ph@nna.asia	63-2-7753-3515

タイ	sales_th@nna.asia	66-2-392-0475
マレーシア	sales_my@nna.asia	60-3-2163-6226
シンガポール	sales_sg@nna.asia	65-6738-3333
インド	sales_in@nna.asia	91-124-430-8322

NNAではアジア各国・地域の広告に対応しています